

Title: 「海外フィールドワーク引率ブログ」



五十嵐大二

日本写真芸術専門学校
校二部報道写真科を
卒業後、フリーラン
スとしてアフリカの
撮影を中心に活動を
開始。
2002年には
Olympusがスポンサ
ーとなった「A Day in
the Life of Africa」プ
ロジェクトに参加。
現在、同校講師とし
て学生を引率しアジ
ア9カ国をフィール
ドワーク中。オリン
パスデジタルカメラ
を使用。
写真家鎌口健二氏に
師事。

● 最近のエントリー

- ☑ [Day 133 中国・西安より \(last day in Xian, China\)](#)
(2006.07.28)
- ☑ [Day 132 中国・西安より \(from Xian, China\)](#)
(2006.07.27)
- ☑ [Day 129 中国・敦煌より \(Dun Huang, China\)](#)
(2006.07.24)
- ☑ [Day 128 中国・敦煌より \(Dun Huang, China\)](#)
(2006.07.24)

● アーカイブ

- ☑ [2008年03月](#)
- ☑ [2007年03月](#)
- ☑ [2007年02月](#)
- ☑ [2007年01月](#)
- ☑ [2006年12月](#)
- ☑ [2006年11月](#)
- ☑ [2006年10月](#)
- ☑ [2006年09月](#)
- ☑ [2006年08月](#)
- ☑ [2006年07月](#)
- ☑ [2006年06月](#)
- ☑ [2006年05月](#)
- ☑ [2006年04月](#)
- ☑ [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

海外フィールドワーク引率ブログ > 2006年07月 アーカイブ

06.07.28

Day 133 中国・西安より (last day in Xian, China)

[Tweet](#)

[Check](#)

Day 133

7月28日

中国・西安最終日

引率者のブログには、引率者としての格調と体裁が求められ、期待される。では、自分の場合はその条件を満たしているのか、ということが不安になった。中国に入ってからというもの、病だからということをお口実にして、私個人の性格と趣味だけが強調された内容に偏り過ぎてはいないのか。その葛藤とバランスのとり方が微妙で難しい。

学生ならば、彼らの心の内をさらけ出すような個人的な内容であって問題ない。それこそがブログの醍醐味であり、その私的な体験や語り口に感動する。

さて、
そのような前置きをしてから、以下に私の今日のブログ。

写真撮影、日常生活、体調など、現在のところ、中国ではほとんどあらゆるものが裏目に出ている。敗北宣言の一手手前。土俵際、つま先で私踏ん張ってます状態。昨日も良かれと思って食べたピザに負け、その晩、ちょっとわくわくして行ったマクドナルドでは、焦げたパンにはさまったハンバーガーが出てきた。

そんなときは、学生の一人、大谷可奈子の「ワタシやっぱり中国合わないアルヨ・・・」ブログがお慰め。下には下がいることを知り、心がなごむ。「おお学生さん、負けんなよ」と、声までかけてやりたくなる。

私は明日から内モンゴルへ移動し、そこでは大草原ツアーに行ってくる。今となっては、それが唯一の望み。それにしても良い響きですね、大草原。草原好きな私にとり、フィールドワークの引率中、最も期待を寄せる場所。

そこに、大谷可奈子もやって来るという知らせ。予定を変更した由。どうなることか。なにしろ相手はつわもの揃い、ジンギスカンの末裔たち。。。

PS

ここ西安のインターネットカフェのPCは、カードリーダーを認識してくれない。そのため、写真のアップが出来ずにいる。今日も写真が一枚もないのは、そのためです。ご了承のほどを。

カテゴリ:

post by 五十嵐大二 | 日時: 2006.07.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(26\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ > 2006年07月 アーカイブ

06.07.27

Day 132 中国・西安より (from Xian, China)

[Tweet](#)

[Check](#)

Day 132

7月27日

昨晚西安に着いた。
数年前の冬、妻と観光旅行で来て以来2度目の町。こんなに大きく整然とした町だったのか。

体調ほぼ回復。
で、ピザハットへ行った。
そしたら調子に乗ってピザを食べ過ぎ気持ち悪くした。

秦の始皇帝が国を統一したその同じ場所で二千数百年後、自分はピザの食べ過ぎでベッドで寝込む。同じ人間でやるのがどうしてこうも違うのか。。。 情けないにもほどがある。

カテゴリ:

post by 五十嵐太二 | 日時: 2006.07.27 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ > 2006年07月 アーカイブ

06.07.24

Day 129 中国・敦煌より (Dun Huang, China)

[Tweet](#)

[Check](#)

Day 129

7月24日

中国・敦煌より

日本から見て辺境の地といわれる土地。一体どんなところなのか想像もつかなかった場所。砂漠の中のオアシス。しかし、いざ彼の地に立ってみると、何のことはない。子供が道端で遊んでいる。道路工事の夫が砂利と水をこねている。雑貨屋のおばさんがやる気なさそうに店番をしている。そこにはごく普通の生活があり、家が建ち並び、人々が忙しく行きかう。チベットばかり、シルクロードばかり。結局、当たり前のことだが、辺境などという地はないのだろう。どこにしようが、自分の居る場所がすなわち中心。こんな遠く、と思っていた場所も、それは自分が勝手に思っていただけ。知らなかっただけ。どこでだって人は普通に生きている。

旅は続き、心の中の白地図が少しずつ少しずつ、埋まっていく。

ああ、それにしても。
敦煌といえば平山郁夫画伯のシルクロード。まさか来られるとは思ってもみなかった。しかし、現場まで来ていながらホテルから一步も外へ出られないとは、ついてない。

カテゴリ:

post by 五十嵐太二 | 日時: 2006.07.24 | [パーマリンク](#) | [コメント \(25\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ > 2006年07月 アーカイブ

Day 128 中国・敦煌より (Dun Huang, China)

[Tweet](#)

[Check](#)

Day 128

7月23日

中国・敦煌より

<近況>

おい、あの五十嵐って野郎、最近ブログ、とんとご無沙汰してるじゃねえか。いってえどういう料簡でえ。

おっと、声がでけえっての。うわさによるってえと、あの野郎、病に伏してうんうん唸ってるって話だぜ。

何を？ あの男がけえ？ 珍しいこともあるもんだ。

ネパール過ぎた辺りから調子崩し、医者に見てもらったところ、何でも「疲労困憊」っつうふざけた診断でよ。まったく、情けねえたらねえぜ。それで一体、引率が驚まるのかってんだ。

あの男もざまあねえな。学生には体に注意しろ注意しろっつときながら、ためえが病気になるってどうすんだよ。

で、今、野郎、一体どこでなにやってけつかるんでえ？

何でも、野郎は今、中国シルクロードの敦煌って町にいらしいぜ。カシュガルってえ町で発熱し、点滴打って、熱こそ下がったものの吐き気がどうもおさまらず、どこにも行けずホテルの部屋でじっとしてるとよ。まったく不甲斐ない話だぜ。めったなこっちゃ行けねえシルクロードくんだけ行っていながら、一体、何をやっていやがるかってなもんだ。あのオオバカ野郎。写真なんて、ラサから一枚も撮ってないってよ。もうかれこれ丸2週間じゃねえか。もったいねえ。敦煌にはたいした病院もないもんで、以前インドでももらった吐き気止めの薬を飲んで何とかしのいでいらしいけどよ、この先、内モンゴルだとか、字面を見ただけで面白そうな場所に行

ハフソンのに、入ススかぬ！

んなこと、俺の知ったこっちゃねえ。

ま、そのうち、良くなだらうよ。あいつのこったから。ガンガーの水で頭冷やして、おととい出直して来やがれってんだ。

(中国では体調不良が続き、羽立君がくれた落語のテープを聴きながらベッドの上でまんじりともせずにあります。上の江戸っ子口調はその影響で、決してふざけているわけではありません。聞こえてくる日本語が唯一、落語なのです。五十嵐は今日もベッドの上です。大したことはありませんが、すいません。)

<写真説明>

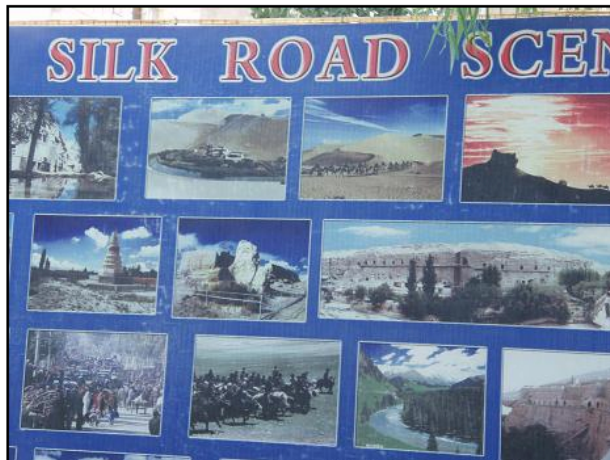
写真は全てオリンパスμ720SWで撮影。All photos taken by Olympus μ720SW



ホテルの部屋の窓から見える風景。これを丸4日、眺めている。



ホテルの部屋の自分。



シルクロードの広告。行きたかった。

カテゴリ:

post by 五十嵐大二 | 日時: 2006.07.24 | [パーマリンク](#) | [コメント \(27\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS